

奈良県の環境の現況について

(令和2年度、公害苦情)

- ・ 令和2年度に県及び市町村で新規受理した公害に関する苦情件数は、833件で前年度より63件増加している。
- ・ 新規直接受理した苦情の内容をみると、典型7公害に係る苦情は484件（58.1%）で前年度より97件増加しており、典型7公害以外の苦情は349件（41.9%）と34件減少している。
- ・ 典型7公害のうち苦情件数が多いのは、大気汚染155件（18.6%）、水質汚濁125件（15.0%）、騒音112件（13.4%）、悪臭89件（10.7%）であり、上位4公害で典型7公害の99.4%を占めた。
- ・ 典型7公害以外の主なものは、不法投棄198件などがある。

種類別苦情件数(新規直接受理)

典型7公害								典型7公害 以外	合計
大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	小計		
155	125	1	112	2	0	89	484	349	833
18.6%	15.0%	0.1%	13.4%	0.2%	0.0%	10.7%	58.1%	41.9%	100%
61	-2	0	20	-4	-1	23	97	-34	63

下から二段目は全件数に対する割合、最下段は前年度からの増減

上位4公害の発生源別苦情件数

水質汚濁	流出・漏洩	産業排水	廃棄物投棄	家庭生活(その他)	左記以外	合計
	23	15	1	12		
大気汚染	焼却(野焼き)	工事・建設作業	焼却(施設)	産業用機械作動	左記以外	合計
	123	11	14	2		
騒音	工事・建設作業	産業用機械作動	家庭生活(ペット)	カラオケ	左記以外	合計
	48	15	8	3		
悪臭	家庭生活(その他)	流出・漏洩	焼却(施設)	産業排水	左記以外	合計
	28	10	3	2		

